

昭島市総合戦略(素案)に係るパブリックコメントの結果について

No.	該当ページ	該当項目	意見の要旨	市の考え方
1	—	素案全般	端的でわかりやすくまとめられており有能な委員会である。総合戦略は骨組みがしっかりしており、具体的な事業案も多様で、活気・活力ある市政が行われている。 また、外部の検討委員会を取り入れたことで透明度が高く、質の良い民主主義が行われている。こうした良い面を失わず日々の市政に尽力してほしい。	これまでの計画策定においても、市民参画、市民との協働を基本に、また、外部の委員会を設置するなど、市民をはじめとする多くの方の意見を伺いながら、取組みを進めてまいりました。今後も引き続き、市民参画、市民との協働を基本に、取り組んでまいります。
2	6 0	(参考) 国の総合戦略	政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）の「自立性」だが、むしろ各市町村の独自性、個性を尊重すべきである。 また、「結果重視」だが、長期的展望ということであれば、そこに至るまでの課程・道のりを重視すべき。昭島市の将来都市像のキャッチフレーズが実に良いため、国の戦略の拙さが目立つ。	昭島市総合戦略は、第5次総合基本計画における本市の将来都市像「元気都市あきしま」の確かなる実現に向けて、計画後半期となる総合基本計画と充分な整合を図り、戦略的、一体的にまちづくりを進める計画となります。 また、総合戦略施策検証についてはP D C Aによる見直しを行います。
3	6 1	基本目標 4	国の政策そのままであり、市の独自性が感じられず残念。「時代に合った地域をつくる」とは器（ハード）を増やしたり、スクラップ・アンド・ビルドすることか。そうではなく、ソフト面でのまちづくりを考えているのであれば大賛成である。	国の目標も参酌する必要があるため、国の目標と同様となっていますが、その取り組みの方向性においては、あきしまらしさを視点に検討を重ねてきました。 本市としては、都市の魅力を総じて高めるためには、ソフトとハードの融合が重要であり、今後においてはソフト面も重視したまちづくりを進めていくものです。
4	6 1	人口ビジョンにおける人口の将来展望	昭島の魅力発信には大賛成である。転入してきた知り合いからは、長く住んでいる自分でも気づいてなかった市の多くの魅力を教えてもらった。こうした魅力をぜひ「広報あきしま」で積極的に発信してほしい。そのためには企画部の担当課は机上ではなく、まちに出て自らの五感を働かせて取材をすることが望まれる。	人が訪れ、賑わいにあふれるまちとするためにもあきしまの魅力を市内外に向けて発信し、効果的、戦略的な広報活動の展開を図ります。「広報あきしま」の更なる活用については、ご意見を充分に参考とさせていただき、取組みを進めてまいります。
5	6 2	昭島市総合戦略の全体像	「女性の雇用」とあるが、検討委員会の9名のうち女性は2名のみ。委員の半数は女性にしないと働きながら子育てしやすい環境づくりの本音は得られないのではないかと懸念する。	公募市民委員を含む、様々な分野からの参画を得る過程で結果的に女性委員は2名となりましたが、参加委員からは毎回積極的な発言をいただけてきました。 また、結婚・妊娠・出産・子育てに関する意識調査やワークショップにご参加いただいた女性の意見も参考にさせていただきました。 女性委員比率については、これまでも様々な取組みをさせていただいておりますが、今後におきましても庁内各分野において、取組みを推進してまいります。

No.	該当ページ	該当項目	意見の要旨	市の考え方
6	64 ～77	基本目標1～3	女性の活用の視点が弱い。 女性と高齢者の社会参加促進によってM字曲線が見通しの通り回復させるための具体的案が盛り込まれると良い。 (私案) ①フェアで、「女性のための就職フェア」を開催 ②中核企業には女性管理職の登用促進等「女性を活用しつづける」環境の整備 ③子を持つ母親は2人1組で就労できる環境を整え、子どもが病気の時などでも助け合いながら勤務できる体制や環境の整備 ④60歳の定年を迎えた人材は、経験がある職種で市内の同一職種のヘルパーとなり、レギュラーな、その企業の若手の残業の肩代わりをする。	今後の具体的な事業展開の中で参考にさせていただきます。 女性の活躍については、「女性活躍推進法」に基づき、本市はもとより、市内企業においても取り組みが推進されていくものと考えます。
7	64	基本目標1	企業城下町の構想は良い案だが、今後新たに呼び込む企業はグローバルに展開ができて、将来的な環境変化にも対応できるような技術力のある企業、かつ既存企業とは重複しない中小企業も良い。 「最先端」にこだわりすぎないよう、既存、今後招聘する企業ともに「小回りが利く生産体制」を持つことをアドバイスすると良い。	本市の基幹産業であるものづくり分野において、多様な産業集積を生かした異分野異業種連携を推進してまいります。常に新しいものづくりを志向する企業を産み出すことが、活力ある地域づくりと新たな雇用創出にとって重要であると考えています。
8	68	基本目標2	複合商業施設、大型ショッピングモール、また、スポーツ施設やリゾートホテル等が揃っているのは市の魅力だが、存在するだけでは移住・定住意向の動機づけとして弱い。これらの施設や企業と提携して割引制度など市民のみの特典を導入し、他市住民との差別化を図ってはどうか。近隣市からの来訪をきっかけに市への移住の訴求力が上がると思う。	「住んでみたい」と思えるまちとなるためには、まず、昭島に訪れ、昭島の良さを知っていただくことが必要と考えます。民間商業施設などは、本市に人の流れをつくる、新たな魅力であると捉えています。今後も民間事業者等と連携する中で、総合戦略の施策を展開し、総じて移住や定住意向を高めて行きたいと考えています。
9	69	(仮称)教育福祉総合センター整備事業	「知」の拠点である市図書館は、新刊の蔵書が少なく、予約手配も遅いため、市民の知力・教養向上のため改善した方が良い。	現在、図書館機能を含めた(仮称)教育福祉総合センターの整備に向けて、市民ワークショップなどを開催し、市民の皆様のご意見も伺う中で、取り組んでいます。今後も、「知」の拠点とのコンセプトのもと、市民の知力・教養向上につながるような施設となるよう、努めてまいります。
10	69	東中神駅周辺整備事業	基地跡の雑木林の伐採によって動物、鳥類の生息環境が失われてしまうため、多くの市民が署名活動まで行い反対したが、国や市は聞く耳持たず実行した。市民を無視した行為だと受けとめている。 「緑を基本」とするなら切るべきではなかった。もう二度と同じ生態は戻らない。	立川基地跡地の開発においては、様々なご意見があったものと認識しております。整備にあたっては緑を基調としたまちづくりが進められています。 また、総合戦略の策定過程においても、本市にとって水と緑はかけがえのない財産との認識のもとに検討を行ってきました。今後もまちづくりの理念である環境との共生を基本に、まちの魅力、にぎわいを生み出すまちづくりを展開してまいります。

No.	該当ページ	該当項目	意見の要旨	市の考え方
1 1	7 2	昭島ブランド フード・グラン プリ	新たな本市の魅力づくりと位置付けているようだが、私の知る限り、職人気質の方々が営む本当に美味しいものづくりをしているお店は参加していない。	本市の地場野菜をはじめ、昭島にちなんだ食材を使用したフード、スイーツなど、新たな昭島ブランド構築に向けた取り組みとして実施しています。今後もより多くの方に参加いただけるよう、事業展開してまいります。
1 2	7 3	基本目標 3	数値目標に「学童クラブ入所待機児童数の解消を目指す。」とあるが、器を作って問題解決とするのではなく、新しい視点でこの問題に取り組んでほしい。子どもを建物に閉じ込めるのではなく、例えば、シルバー人材センターなどに依頼して、見守りや共に遊んでもらえる、安心して自由に遊べる広場づくりなどを進めるべき。	昨年度策定した「子ども子育て支援事業計画」を基本に、計画的に事業を進めています。「学童クラブ入所待機児童数の解消」も課題の一つであり、数値目標としています。 また、これまでも、児童の安全・安心な居場所づくりとして、放課後子ども教室を実施しておりますが、今後も、より一層の充実に努めてまいります。
1 3	7 3	基本目標 3 講ずべき施策に 関する基本的 方向性	「独身男女の出会いの場づくり」だが、この意見を出してきた人は、教職経験の長い私からすると、勉強のできる優等生タイプであったと思われる。こういう人は少数派であり、多くの人は自由に恋愛し、結婚し、生活を営んでいる。従って「出会いの場」設定はほどほどが良い。	総合戦略策定にあたり実施した市民アンケートの結果では、出会いの場の少なさも課題としてあげられている現状もあります。結婚や出産は個人の選択でもあります。人口減少を克服するためには出生率を上げることが必要です。結婚の希望があっても、出会いの機会がない方への支援も必要なものと考えております。
1 4	7 4	多子出産お祝い 事業	第2子以降ではなく、第1子からにしてはどうか。また、お祝い品は地域特産品もいいが、ベビーカーなど実用品の方が良いのではないかな。	本事業におきましては、出生率向上を目的とした一つの事業として、2人目以降のお子さんを対象としております。第1子からのお祝い品につきましては、子育て世代包括支援センターの設置と併せて検討いたしております。
1 5	7 5	子育てと仕事の 両立支援	契約、嘱託社員でも産休や育休が取れるようにしてほしい。まずは市役所から。	市内企業においては、企業管理職向けのワーク・ライフ・バランス講演会などの具体的な事業展開の中で、更なる周知を図ります。市におきましては、職員次世代育成支援プラン（特定事業主行動計画）を策定する中で、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めております。
1 6	7 6	ファミリーサ ポートセンター	対象を現状の小学生から、中学生に引き上げてはどうか。	今後の検討課題とさせていただきます。
1 7	8 1	地域包括ケアシ ステムの視点に 立った高齢者支 援	学校給食のメニューを高齢者の食事支援として工夫し、低価格で配達してほしい。	一定の要件はありますが、高齢者の健康に配慮し、栄養バランスのとれた配食サービスを実施しています。
1 8	8 2	サービス付き高 齢者向け住宅の 確保、地域密着 型サービスの充 実	市の介護福祉制度の充実度は、定住・移住の判断基準として重要な要素である。力を入れていくという意味で、目標値をもう少しあげても良いのではないかな。	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、必要となるサービス見込み量を推計し、計画的に整備を進めています。
1 9	8 5	昭島市総合戦略 策定検討委員会 設置要綱（第6 条3・4）	役所の仕事は上下関係に左右されがちで印象があるが、検討委員会の会議運営は、民主的で良い方法である。	今後も、民主的な会議運営に努めるとともに、より一層の市民参画により事業を展開していきます。

No.	該当ページ	該当項目	意見の要旨	市の考え方
20	88	昭島市総合戦略策定庁内検討委員会設置要綱（第3条2、第4条、第5条2・3、第8条）	庁内では市長以下トップダウン形式に依るのかもしれないが、委員長の権限が強すぎないか。委員会は構成委員側からも開催を申し込める形式が良い。	規定としては委員長開催となっておりますが、必要に応じて委員からの意見を踏まえ開催しております。
21	99	市民ワークショップ「No.2 自然環境が良いにも関わらず、自然災害は少ない」	「子供が遊びやすいまち→生活道路への侵入禁止」は大賛成であり、ぜひ徹底していただきたい。車が抜け道として利用するのと引き換えに、子どもや高齢者、障害者等が命の危険に晒されるのはおかしい。	今後の具体的な事業展開の中で参考にさせていただきます。
22	101	市民ワークショップ「No.5 運動が盛ん」	「高齢者の運動を奨励する」には大賛成である。82ページの「いきいき健康ポイント制度」と関連させてポイントカードをつくり、民生委員等に自己申告でスタンプを押してもらい、スタンプがたまると高齢者からの希望を聞いて設定した「ご褒美（物やサービス）」と交換できるというのはいかがだろうか。	現在、「いきいき健康ポイント制度」の拡充について、検討しております。